

第5回 在宅医療・介護連携のための多職種連携研修会

- 1 開催日時：令和元年9月27日（金）午後2時～4時
- 2 開催場所：淀川区役所 6階 会議室
- 3 講師：医療法人社団 秀壮会 秀壮会クリニック 院長 熊野 宏二 先生
- 4 演題：ACP（Advance Care Planning）（人生会議）について
- 5 出席者数：45名

6 内容：

(1) ミニレクチャー

人生会議（ACP：Advance Care Planning）について、わかりやすく詳しくお話いただきました。

予測されない急激な変化や、患者さんの意思が確認できなくなった時にも、それまでのACPをもとに、患者さんの意思を推測することができるように、また、患者さんの意思は変化しうるものであり、繰り返し話し合うことが重要であり、患者さんが自らの意思を伝えられない状態になる前に、本人の意思を推定する者について、家族等の信頼できる方を前もって定めておくことが重要であるとのことでした。

最後に、健康なうちに人生会議をもち、家族や主治医と何度も話し合うことが大切であり、人生会議の一層の普及・啓発が必要であるとお話いただきました。

(2) グループワーク（模擬人生会議）

がんで入院中の余命数カ月の単身者のケースについて、ロールプレイングにより、患者役が在宅療養か、病院かを選択するため、患者役から気持ちを聞きながら、意思決定支援のための模擬人生会議を行いました。

7 参加された方のご意見等

- ・ターミナル事例の難しさがわかった。
- ・人生会議を身近ですることができたら、と思った。
- ・退院時カンファレンスで自宅に帰ってから、どのように過ごしたいのか、どのように支援していくのか、急変時の受け入れなどしっかりと維持するため、退院カンファレンスが大切だと思った。

- ・今後、同じような事例の方に生かしていきたい。
- ・ロールプレイングが珍しく、良かったです。
- ・事例から、一人暮らしの方の支援は多くの問題があり、支援することも難しい。行政、医療、介護サービスや地域での関わりなどで多くの課題を感じた。
- ・多職種の方の意見も聞けて良かった。

